

# 世古やすひで だより



発行責任者 鳥羽市議会議員 世古やすひで 鳥羽市国崎町733-4 電話 0599-33-6561



**①「おもてなし会議」のあらい**

総務課長 サミットの成功を目標とし、おもてなしサミット開催後も長期間にわたる地域経済が好循環するよう「真

来年度5月26日、27日に開催される伊勢志摩サミットは、世界に鳥羽をアピールする千載一遇のチャンスです。鳥羽市の活性化に大いに期待をしています。平成27年9月15日の本会議で、「伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議」への補正予算について質問しました。

## サミットに向けて道路景観整備は？

### 市長 パールロードの樹木伐採も進める！

**②経済効果は**

総務課長 本市の経済効果は算定しておりませぬけれども、百五経済研究所で三重県の経済効果を130億と算出しています。

珠養殖発祥のまち、海女が日本一多いまち、伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議」を立ち上げました。

**④配偶者プログラムを鳥羽へ誘致する活動は**

総務課長 来年度の予算計上を進めていきたい。

鈴木知事も「オバマ大統領のミシェル夫人の情報発信力はすごいものがある」ということも話していただきました。取り組みは、市長 配偶者プログラムは私たちが今回の伊勢志摩サミットで最も誘致をしたい、その事業であることは間違いないと思います。そして、その中でのかなの手応えを感じています。開催地を決定するのは

**③各国関係者への記念品予算は**

各国政府やメディア関係者に鳥羽の魅力を情報発信するためには、鳥羽らしい特色のある記念品が必要と予算計上は。

**初心に帰る活動をすすめます！**

総務民生常任委員長に就任しました。いつも心あたたまるご声援に感謝申し上げます。この度の議会議員の改選により、総務民生常任委員長に就任しました。重要な職責を担うことになり、初心に帰り、活動をすすめていきたいと思っております。

議会での所属は次のようになります。総務民生常任委員長・予算決算常任委員・議会改革推進特別委員・議会運営委員・とば市議会だより編集委員

選出 鳥羽志勢広域連合議会議員

鳥羽の情報発信として非常に有効な手段は配偶者プログラム(参加する国のファーストレディーや配偶者のプログラムの意味)を鳥羽へ誘致するつもりです。

→写真(11月の、7日に鳥羽市で開催された「海女サミット」。配偶者プログラムでも海女さんとの交流ができればいいですね)



一ヶ月ほど前のことです。で、それに向けていろんな動きをしようと思います。

備え道路や景観整備費に、五十四億円計上と新聞報道されました。パールロードを通ると、樹木で海が見えにくい状況です。パールロードの樹木伐採の要望は、市長 県の予算については、県から十六億円程度鳥羽へという話も聞いております。こちらの要望も出しながら、パールロードの樹木伐採も含めて話を進めていきたい。

**⑤パールロードの樹木伐採の要望は**

県の補正予算でサミットに

**⑥補正予算について市長の考えは**

市長 伊勢志摩サミットで、鳥羽の名前が出るのと懸念されているが、「さか早く」真珠養殖発祥のまち、海女が日本一多いまち」を副題として、おもてなし会議をひらきまして。そこで委員からの意見をもとに、今回一千万円の補正予算を組ませただけで済ませた。後手後手なところから進めていきました。



# 「伊勢二見鳥羽ライン」 平成29年4月無料化前倒し！

三重県は10月26日県道路公社が運営している「伊勢二見鳥羽ライン」を平成29年4月1日から無料化をすると発表しました。

同時に眞管サンアリーナ前の仮設インターも常時開放されます。

これに伴い鳥羽市議会でも説明がありました。

## 市民の利便性の向上と観光の活性化

伊勢二見鳥羽ラインの無料化については、一般質問でも取り上げ、市民の生活道路としての利便性の向上と観光の活性化に繋がると早期無料化を訴えてきました。これが実現することになりました。

市長を始め市当局、自治会



連合会、観光協会、商工会議所など関係者の努力が実を結んだもので、大変うれしく思っています。ヤッター！

## 第二伊勢道路の開通で利用者が急増

伊勢二見鳥羽ラインは平成6年4月に完成。平成25年9

月には接続する第二伊勢道路が開通したことにより利用者が急増しました。

県は平成29年4月の菓子博、平成30年のインターハイ、平成33年の三重こわか国体及び障害者スポーツ大会等の開催により、伊勢・鳥羽・志摩

地域への観光客増加が見込まれるとしています。

議会への説明によると無料化前倒しに向けて、建設費の未償還金も含めた費用は県、伊勢市、鳥羽市、志摩市、道路公社が負担を予定定です。

## 9月委員会審議から

①イノシシやシカを捕獲する人が減っているが対策は

鳥獣害対策事業について、「イノシシやシカを捕獲できる人が減ってきているが、その対策はどうしているか」「農水商工担当課」鳥獣被害防止総合対策事業補助金の中で、免許講習費の補助を行っている。

「わな等への更新費用の補助検討と、人の育成を十分にしたい」と要請しました。

## 子育て支援担当副参事

「日常的に利用するかたや、長期休暇の際の利用、短期の利用というパターンがある中、常に全員が利用するのではなく、定員内で収まっており、希望者全員の入力は出来ていない」

「加茂地区への設置のニーズはないか」

子育て支援担当副参事「総会などの場では、独立したクラブの新設を求める声は出てきていない」

## ③空き家調査で障害は何か

空き家対策について、これまで情報提供は76件あり、そのうち解体となった空き家が6件ということであるが、所有者調査などについて

とが障害になっているか。担当副参事 情報提供のあった76件すべてが解体しなればならない建物ではなく、草木が生い茂っているなどで所有者と連絡のつくものは対応いただいている。

また、危険な建物で、所有者が不明なものについては、今年度から特別措置法が施行されたことにより、情報も活用できるようになったが、最終的に相続権者が不明という物件もあり苦労している。

## 12月7日本会議

一般質問をします  
一問目 国際交流事業と国内の友好都市事業の取り組みについて

①米国サンタバーバラ市との国際交流事業の成果と今後の課題は何か。  
②韓国済州市との国際交流（友好都市提携）はできないか。

③本市と交流のある愛知県田原市や、長野県大田市、飯島町、岐阜県美濃市等との友好都市提携はできないか。  
④市民レベルでの観光交流の促進策は。

## 二問目 離島地区の定住応援策について

①10年後の鳥羽市全体と特に離島地区の人口はどのように

（サンタバーバラ訪問との交流）



推計しているのか。

②これまでの定住応援策は何か。  
③答志行き最終便の増発について。

## 編集後記

大庄屋かどやで「ときめき川柳講座」開催中

講師 斎藤たみ子先生（毎日川柳同好会所属、四日市川柳所屬）  
大庄屋かどやで毎月第一水曜日の午後1時30分から、桃取町在住の斎藤たみ子先生の指導による川柳講座が開催されています。

先生の感受性豊かな川柳が生きる人を励ましてくれます。あなたも川柳に挑戦してみませんか。参加希望の方はかどや（電話25-8080）まで。  
十月の互選結果 句題「秋」  
（天句）目を閉じて古里しのぶ秋の雨  
いつか  
（地句）秋空に背のび大きく秋をのむ 美智子  
（人句）秋の風コスモス揺れて人を恋う 千津子

